

## 2. 上位・関連計画の整理

### 2. 1 上位・関連計画

作成する北茨城市エネルギービジョンは、上位関連計画である総合計画、環境基本計画、市域における地球温暖化対策の実行計画である「区域施策編」の目標や将来像と整合したものである必要がある。そこで、国や茨城県の地球温暖化対策や地球温暖化対策実行計画の内容も踏まえ、本ビジョンを作成した（図 8）。

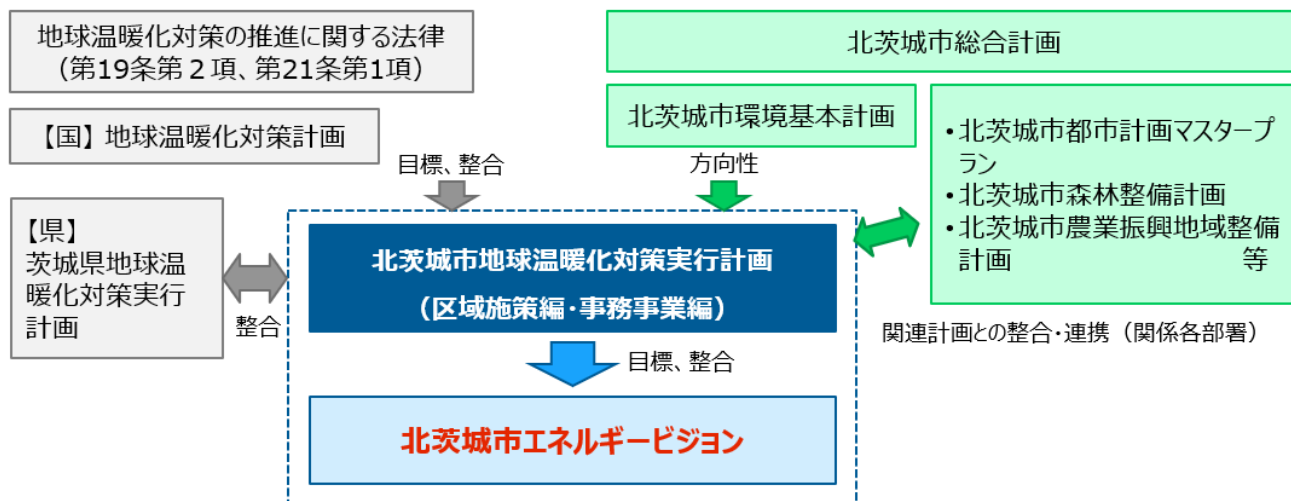


図 8 北茨城市における各計画の関係性の整理

### 2. 2 北茨城市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）

2021 年度に策定した地球温暖化対策実行計画（区域施策編）は、計画期間を 4 年間として、2030 年度には 2013 年度比 46%削減を目標としており、「再生可能エネルギー利用の推進」を大きな取組みの方向性の 1 つに掲げている。



図 9 区域施策編の目標設定状況

## 2. 3 ゼロカーボンシティ宣言の実施

本市を会長とした関東甲地域の40団体（73市町村）と民間事業者2社で構成（2020年4月時点）される「廃棄物と環境を考える協議会」では、趣旨に賛同する各構成自治体が地球的規模の環境保全について積極的に取り組み、2050年までにCO<sub>2</sub>排出量の実質ゼロを目指すことを宣言している。すなわち、本市は2020年にゼロカーボンシティ宣言を行っていることから、本ビジョンも2050年ゼロカーボンを目標に検討を進めていく必要がある。

また、策定済みの地球温暖化対策実行計画（区域施策編）では、「地球温暖化対策の推進に向けた人づくり・環境づくりを進めること」、「CO<sub>2</sub>削減につながる暮らし方や事業活動を広めること」、「地球温暖化に関する情報収集や適応策を進めること」に加えて「再生可能エネルギーや効率的なエネルギー利用を進めること」が示されている。

そこでは、以下の4つの取組みが挙げられている。

- ①太陽光発電システム等の設置の推進
- ②公共施設への太陽光発電システムの導入
- ③工場や施設における廃熱等を利用してエネルギーの創出
- ④広域ごみ処理施設を整備 等

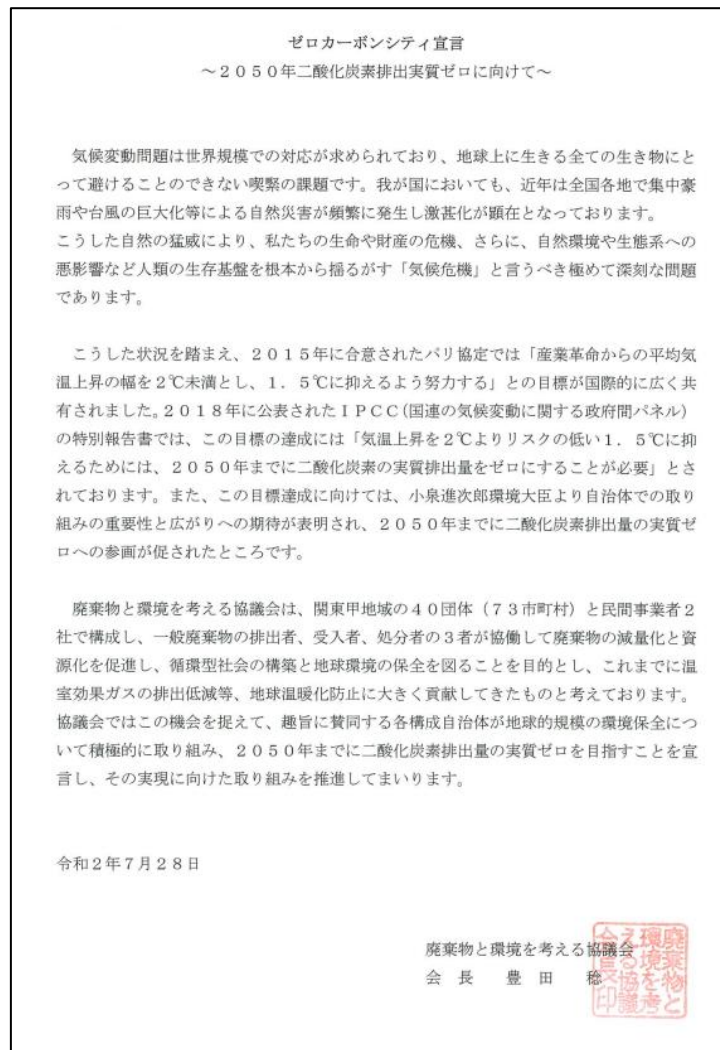


図 10 ゼロカーボンシティ宣言